## 13 Galois 理論の基本定理の別の定式化

K:体、  $K^{\text{sep}}:K$  の分離閉包、 A:etale K-alg に対して  $\mathscr{S}(A):=\operatorname{Hom}_{K-alg}(A,K^{\text{sep}})$  とおく。このとき K の絶対 Galois 群  $G_K:=\operatorname{Gal}(K^{\text{sep}}/K)$  は  $\mathscr{S}(A)$  に以下のように作用する。

$$G_K \times \mathscr{S}(A) \longrightarrow \mathscr{S}(A)$$
  
 $(\sigma, f) \longmapsto \sigma f$ 

ただし $\sigma f$ は

$$\sigma f: A \longrightarrow K^{\text{sep}}$$
  
 $x \longmapsto (\sigma f)(x) := \sigma(f(x))$ 

である。 $G_K$  は定義  $(\ref{eq:condition})$  から位相群であり、この位相についてこの作用は連続になり、これは各  $f\in \mathscr{S}(A)$  の固定化群が開であることと同値になっている。

A=K[X]/(f) のとき f のある根  $\alpha_i$  に対して  $\alpha_i=X+(f)$  とすることで  $\mathscr{S}(A)$  の写像が一つ定まるので  $\mathscr{S}(A)\cong\{f$  の根  $\}$  が成り立ち、 $\mathscr{S}(A)$  を多項式の根のように見ることができる。

逆に S を  $G_K$  が連続に作用する有限集合  $(G_K - 集合)$  とすると  $\mathscr{A}(S) := \operatorname{Map}_G(S, K^{\operatorname{sep}}) := \{f : S \longrightarrow K^{\operatorname{sep}} | f(\sigma(x)) = \sigma(f(x)), \forall \sigma \in G_K \}$  とおいたとき  $\mathscr{A}(S)$  は K - alg でさらに有限次 etale でもある。 以上のことから以下の定理が成り立つ。

定理 13.1. 次の反圏同値がある。